

「シュグノン郡スチョン地区における灌漑用水路整備計画」 引渡し式

7月15日、相木大使は、ゴルノ・バダフシャン自治州シュグノン郡スチョン地区を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された、同郡の灌漑用水路建設事業（供与額：110,423米ドル）の引渡し式に出席しました。

相木大使は引渡し式の挨拶で、農業分野は、日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野であり、今回のプロジェクトにおいて、農業用水供給用の地下パイプが設置されたことにより、安定した農業用水の供給が実現され、農作物の収穫が拡大することで、地域住民の方々の経済状況が改善されることを願う旨述べました。これに対して、ジュマ・ジュマゾダ シュグノン郡長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計453件、総額約3,740万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

